

クリニックの建物を使って、サムラング分校のロバートとアラム両先生が大人の識字教育を担当。保健衛生・育児教育は、訓練を受けたビラーンのヘルスワーカー、オディーが担当。

会員の笠井さんのご協力で6月に完成した簡易水道施設のおかげで、直接その恩恵を受けている約60家族の健康状態は著しく改善され、特に子供の皮膚病、腸炎が減ったとオディーは報告してきております。クリニックにも勿論この水道が引かれており、近く完成する学校でも子どもたちはこのきれいな山の湧き水が使えます。

### 農業技術指導：

サムラングのモデル農場で、生産性を高めかつ生態系を破壊しない農業、畜産技術教育をしています。同時に将来コミュニティー運営がすべて住民だけでできるように組織づくりの指導も。これらはラウロの担当です。

## HANDSの今後を考える ― 会の名称・会費・会の組織化・活動など ―

( 去る10月11日の、HANDS横浜集会の話し合いより)

「ビラーン通信」7号で、会発足1年を迎えて、会の名前その他についてこの際見直しをと、皆さんに提案をさせていただきましたところ、数名の方からご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。

去る10月11日の横浜集会で、皆様のアドバイスを参考に作成した新パンフレット(試作品)をもとに、出席者6名で話し合った結果、以下のように決めさせていただきました。

新会費については、11月以降入会される皆さんから適用させていただきます。

現会員の方は、次回会費納入時、引き続きご支援いただける場合は、新会費でお願いしたいと思います。諸事情ご理解の上、今後ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

### 会の名称：

「ビラーンの医療と自立を支える会」…現在の名称は「ビラーン族の医療を支える会」  
ビラーンの知名度が低いことを考慮して、パンフレットなどでは、名称の前にミンダナオ先住民族と書き添えるほか、地図も入れることにしました。

### 会費：

正会員 一口1,000円…現在の会費は一口2,000円

現行では、正会員は29名。合計33口。正会員会費収入は、月額66,000円です。これに対し、サムラングのKLAWIL GUTNGA(ライフセンター)運営費として現地に送金している金額は、月額にして900ドル(約11万円)です。

900ドルというのは、センターがその設立目的を果たす上で必要最小限の経費から割り出した額です。(CMBが、住民の経済的自立という最終目的のために、HANDSに1年前協力を要請した経費は、月額1,200ドルでした。会員数から考えて当分無理と伝えてあります)

送金額と会費収入との差額は、会費以外にお寄せいただく皆様からのご寄付で充当させていただいてきました。

一口1,000円への変更は、より多くの皆様のご協力を得て、サムラングの活動を支える定期送金は会費収入でまかなうことをめざしたものです。

現正会員の皆さんは、次回納入時以降も、同額の2,000円でご協力いただける場合は二口ということになります。もちろん、一口1,000円への変更も、また、三口3,000円への変更もできます。

### 奨学金(教育費支援会費)

小学生支援 月額300円(年額3,600円)…現在は、月200円(年額2,400円)

ハイスクール生徒支援 月額600円(年額7,200円)…現在は、月400円(年額4,800円)

現行の奨学金は、CMBが地元市民に呼びかけた額をほぼそのまま円に換算してお願いしたのですが、実際には以下のように送金してきました。